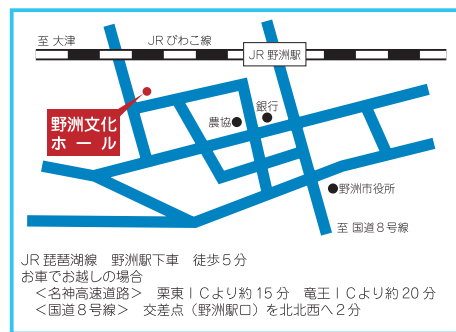


「特別支援教育」再考

特別支援教育が実施されて5年目になる。校内委員会の設置、特別支援教育コーディネーターの指名、個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成、巡回相談システム、特別支援学校のセンター的機能等、個々の児童生徒のニーズに応じる教育が実施されるようになってきた。しかし、小学校、中学校、高等学校の推進状況を概観すると、校種間格差や学校間格差も否めない事実である。

本シンポジウムでは、滋賀県の現状を踏まえ、特別支援教育再考のための視点を提案する。これを受けて、

- ◇ 一貫した支援システムを構築した湖南市の特別支援教育
- ◇ 特別支援教育コーディネーターの立場から見た特別支援教育
- ◇ 相談員の立場から見る小・中学校、高等学校の特別支援教育を報告し、今後の我が国の特別支援教育の在り方を提言する。



日時

2012年1月29日（日）
10:00～16:30（受付：9:30～10:00）

会場

野洲文化ホール 〒520-2331
滋賀県野洲市小篠原 2142

対象

特別支援教育に関心のある方（教育、福祉、行政、医療、保健、保育、保護者）

参加費

1,000円（資料集代を含む）※当日受付でお支払い下さい。参加には事前申し込みが必要です。

定員

800名

内容

- 10:00～10:15 開会にあたって 一般社団法人日本LD学会 理事長 上野 一彦
- 10:15～11:00 基調報告
「滋賀県における特別支援教育の現状と課題ーインクルーシブ教育システム構築からの検討ー」
S.E.N.Sの会滋賀支部会 会長 北脇 三知也
- 11:00～16:30 シンポジウム「特別支援教育を教育現場の現状から再考する」
司 会 藤井 茂樹（滋賀医科大学小児科学講座）
シンポジスト
「発達支援室からみる特別支援教育」松浦 加代子（湖南市社会福祉課発達支援室）
「特別支援教育コーディネーターからの特別支援教育」山田 朋子（近江八幡市立八幡東中学校）
「相談事例からの小、中学校・高等学校の特別支援教育」久郷 悟（元滋賀県特別支援教育研究会会長）
指定討論者
柘植 雅義（国立特別支援教育総合研究所）
大塚 晃（上智大学総合人間学部社会福祉学科）

参加申し込み方法 【受付期間】 2011年12月5日（月）13時～2012年1月5日（木）13時

■一般社団法人日本LD学会のHP（<http://www.soc.nii.ac.jp/jald/>）から参加申し込みをして下さい。次の手順でアクセスし、必要事項を入力して送信してください。

学会HP



最新情報



1月29日（日）日本LD学会公開シンポジウム（滋賀）参加申し込みフォーム

■参加申し込みを頂いてから、2週間以内に参加の可否のメールをお送りします。

※会場周辺には、飲食店・コンビニエンスストアはございません。昼食はご自身で準備してください。

一般社団法人日本LD学会公開シンポジウム（滋賀）実行委員会

委員長：北脇 三知也（S.E.N.Sの会滋賀支部支部会 会長）/事務局長：小西 喜朗（滋賀大学教育学部附属特別支援学校）

主催



一般社団法人 日本LD学会

Japan Academy of Learning Disabilities

後援：滋賀県、滋賀県教育委員会
野洲市、野洲市教育委員会
滋賀県特別支援教育研究会